



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月6日

上場会社名 古河機械金属株式会社  
 コード番号 5715 URL <http://www.furukawakk.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮川 尚久

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 三影 晃

TEL 03-3212-7021

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	40,570	8.6	2,155	12.6	2,230	17.2	1,820	4.5
2019年3月期第1四半期	44,370	15.1	2,466	44.4	2,695	33.0	1,906	178.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,825百万円 ( %) 2019年3月期第1四半期 241百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	46.05	
2019年3月期第1四半期	47.18	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	222,836	80,273	35.0
2019年3月期	215,368	80,447	36.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 77,989百万円 2019年3月期 78,216百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		50.00	50.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	84,000	2.6	4,100	5.0	3,900	7.6	2,700	8.9	68.28
通期	167,000	4.1	8,500	4.7	7,900	4.1	5,500	18.2	139.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	40,445,568 株	2019年3月期	40,445,568 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	904,206 株	2019年3月期	904,102 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	39,541,368 株	2019年3月期1Q	40,403,509 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
2020年3月期 第1四半期決算短信 補足資料	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から同年6月30日まで)においては、米中貿易摩擦の長期化、中国経済の減速など、海外経済の先行き不透明感から、海外需要の回復に遅れがみられた一方で、国内需要は、人手不足や設備の老朽化に伴う省力化・効率化に向けた投資や維持更新需要が底堅く、また、公共投資の持ち直しもあり、我が国経済は、一進一退の状況が続きました。

このような経済環境の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、405億70百万円(対前年同期比37億99百万円減)、営業利益は、21億55百万円(対前年同期比3億10百万円減)となりました。ロックドリル部門では、減収減益となりましたが、産業機械、ユニック部門の増収増益により、機械事業合計では増収増益となり、素材事業合計では、金属部門の影響が大きく、減収減益となりました。

各報告セグメントの売上高と営業利益の状況は、以下のとおりです。

## 〔産業機械〕

産業機械部門の売上高は、47億78百万円(対前年同期比14億44百万円増)、営業利益は、4億69百万円(対前年同期比4億39百万円増)となりました。マテリアル機械では、中間貯蔵施設(福島県双葉郡双葉町)向け関連設備の売上を計上し、増収となりました。また、大型プロジェクト案件では、東京外環自動車道工事向けベルトコンベヤ、小名浜港湾国際バルクターミナル向けの荷役設備、中間貯蔵施設(福島県双葉郡大熊町)向けベルトコンベヤについて出来高に対応した売上を計上し、増収となりました。

## 〔ロックドリル〕

ロックドリル部門の売上高は、66億27百万円(対前年同期比11億7百万円減)、営業利益は、2億37百万円(対前年同期比3億23百万円減)となりました。国内では、都市再開発や、社会資本整備向けなどの継続した需要もあり、売上高は前年同期並みとなりました。海外では、主として、北米市場において、油圧クローラドリルの出荷が、排ガス3次規制機の出荷が好調であった前年同期と比べ減少し、また、油圧ブレーカの出荷も低調で、減収となりました。

## 〔ユニック〕

ユニック部門の売上高は、81億31百万円(対前年同期比11億94百万円増)、営業利益は、10億57百万円(対前年同期比3億65百万円増)となりました。国内では、主力製品であるユニッククレーンは、3月に実施された移動式クレーン構造規格の一部改正前に、駆け込み需要があった受注機の出荷により、増収となりました。海外では、主として、中国におけるユニッククレーンのお荷は好調でしたが、欧米におけるミニ・クローラクレーンのお荷が減少し、売上高は、前年同期並みとなりました。

産業機械、ロックドリルおよびユニックの機械事業の合計売上高は、195億37百万円(対前年同期比15億30百万円増)、営業利益は、17億64百万円(対前年同期比4億81百万円増)となりました。

## 〔金属〕

金属部門の売上高は、170億19百万円(対前年同期比50億21百万円減)、営業利益は、50百万円(対前年同期比5億4百万円減)となりました。電気銅の海外相場は、6,498米ドル/トンで始まりましたが、5月に2017年7月以来の安値である5,780米ドル/トンをつけるなど低位での推移となりました。電気銅は、委託製錬先の設備トラブルによる生産数量の減少などから、販売数量が減少し、また、海外相場の下落もあり、減収となりました。電気金は、生産数量の減少に伴い、減収となりました。

## 〔電子〕

電子部門の売上高は、14億55百万円(対前年同期比1億76百万円減)、営業利益は、32百万円(対前年同期比99百万円減)となりました。高純度金属ヒ素は、主要用途である化合物半導体用などの需要が、2019年初から低迷し、減収となりました。また、結晶製品およびコイル製品も、減収となりました。

## 〔化成品〕

化成品部門の売上高は、17億41百万円(対前年同期比1億24百万円増)、営業利益は、1億53百万円(対前年同期比11百万円増)となりました。硫酸は、販売数量は前年同期並みとなりましたが、2018年下期以降実施した価格改定による販売単価の上昇などにより、増収となりました。

金属、電子および化成品の素材事業の合計売上高は、202億16百万円（対前年同期比50億74百万円減）、営業利益は、2億35百万円（対前年同期比5億92百万円減）となりました。

〔不動産〕

不動産事業の売上高は、6億25百万円（対前年同期比2億37百万円減）、営業利益は、2億円（対前年同期比2億1百万円減）となりました。主力ビルである室町古河三井ビルディング（商業施設名：COREDO室町2）における大口テナントの減床、また2019年12月末に閉館予定の古河大阪ビルにおいてテナント退出が進んだことにより、減収となりました。

当第1四半期連結累計期間の経常利益は、22億30百万円（対前年同期比4億64百万円減）となりました。特別利益に古河大名ビルの売却益5億83百万円ほかを計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は、18億20百万円（対前年同期比85百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、2,228億36百万円で前連結会計年度末に比べ74億68百万円増加しました。これは主として、現金及び預金の増加によるものです。有利子負債（借入金）は、812億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ86億50百万円増加しました。純資産は、802億73百万円で、前連結会計年度末に比べ1億74百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、前回（2019年5月9日）発表の前提を、銅価6,600米ドル/トン、為替110円/米ドルとしていましたが、直近の動向を考慮し、第2四半期以降、銅価6,000米ドル/トン、為替108円/米ドルへ変更しました。

第2四半期累計期間の売上高につきましては、主として、ロックドリル部門では、海外における油圧クローラドリル、油圧ブレーカの出荷減により減収となり、金属部門では、電気銅について、海外相場の下落などにより減収となる見込みで、連結全体の売上高を下方修正しています。

通期の売上高につきましては、主として、産業機械部門では、大型プロジェクト案件の出来高増やマテリアル機械の増収を見込み、ユニック部門では、国内におけるユニッククレーンの出荷増などにより増収となる見込みです。一方、ロックドリル部門では、第2四半期累計期間における修正を主因とする減収を見込み、金属部門では、第2四半期以降の銅価前提変更を主因として減収となる見込みです。また、電子部門では、高純度金属ヒ素の需要減により、減収となる見込みです。以上の結果、連結全体の売上高を下方修正しています。

第2四半期累計期間および通期の営業利益につきましては、ロックドリル、電子部門では、減益となる見込みですが、産業機械、ユニック部門で、増益となる見込みのため、連結全体の営業利益は、前回発表どおりとしています。また、第2四半期累計期間の経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益、ならびに通期の経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、前回発表どおりとしています。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,329	20,075
受取手形及び売掛金	30,668	28,663
商品及び製品	14,966	17,478
仕掛品	11,086	10,856
原材料及び貯蔵品	12,564	13,980
その他	3,964	4,767
貸倒引当金	△138	△139
流動資産合計	87,441	95,682
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,670	22,163
土地	53,911	53,688
その他(純額)	11,707	11,803
有形固定資産合計	88,289	87,655
無形固定資産	257	349
投資その他の資産		
投資有価証券	33,066	33,133
その他	6,906	6,596
貸倒引当金	△593	△580
投資その他の資産合計	39,379	39,148
固定資産合計	127,926	127,153
資産合計	215,368	222,836

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,691	12,143
電子記録債務	12,232	13,018
短期借入金	17,204	21,265
未払法人税等	760	388
引当金	764	698
その他	16,722	15,594
流動負債合計	60,376	63,109
固定負債		
長期借入金	55,392	59,981
引当金	79	80
退職給付に係る負債	8,800	8,702
資産除去債務	224	225
その他	10,046	10,464
固定負債合計	74,544	79,454
負債合計	134,920	142,563
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
利益剰余金	41,892	41,736
自己株式	△1,276	△1,276
株主資本合計	68,824	68,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,339	9,232
繰延ヘッジ損益	12	6
土地再評価差額金	2,780	2,780
為替換算調整勘定	△350	△268
退職給付に係る調整累計額	△2,389	△2,428
その他の包括利益累計額合計	9,392	9,322
非支配株主持分	2,230	2,283
純資産合計	80,447	80,273
負債純資産合計	215,368	222,836

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	44,370	40,570
売上原価	37,606	34,109
売上総利益	6,763	6,460
販売費及び一般管理費	4,297	4,304
営業利益	2,466	2,155
営業外収益		
受取配当金	377	404
その他	242	221
営業外収益合計	620	626
営業外費用		
支払利息	129	128
休鉱山管理費	160	175
為替差損	—	182
その他	100	64
営業外費用合計	390	551
経常利益	2,695	2,230
特別利益		
固定資産売却益	0	586
その他	—	0
特別利益合計	0	586
特別損失		
固定資産除売却損	6	17
災害による損失	—	29
廃棄物処理費用	—	12
その他	—	1
特別損失合計	6	60
税金等調整前四半期純利益	2,690	2,756
法人税、住民税及び事業税	371	409
法人税等調整額	368	461
法人税等合計	740	870
四半期純利益	1,949	1,885
非支配株主に帰属する四半期純利益	43	64
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,906	1,820

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,949	1,885
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,214	△107
繰延ヘッジ損益	△267	△5
為替換算調整勘定	△521	60
退職給付に係る調整額	△11	△38
持分法適用会社に対する持分相当額	△175	31
その他の包括利益合計	△2,190	△60
四半期包括利益	△241	1,825
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△274	1,750
非支配株主に係る四半期包括利益	33	74

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	3,333	7,735	6,937	22,041	1,632	1,616
セグメント間の 内部売上高又は振替高	742	—	35	60	0	13
計	4,076	7,735	6,973	22,102	1,633	1,629
セグメント利益又は損失 (△)	29	560	692	555	131	141

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	862	44,160	209	44,370	—	44,370
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5	857	404	1,261	△1,261	—
計	867	45,017	614	45,632	△1,261	44,370
セグメント利益又は損失 (△)	401	2,512	△26	2,486	△20	2,466

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△20百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△27百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	4,778	6,627	8,131	17,019	1,455	1,741
セグメント間の 内部売上高又は振替高	796	0	34	62	—	13
計	5,574	6,627	8,165	17,082	1,455	1,754
セグメント利益又は損失 (△)	469	237	1,057	50	32	153

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	625	40,379	190	40,570	—	40,570
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5	911	404	1,316	△1,316	—
計	630	41,291	595	41,886	△1,316	40,570
セグメント利益又は損失 (△)	200	2,200	△25	2,175	△19	2,155

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△19百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△27百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

前提

			対前年同期増減	
銅価	第1四半期決算	\$/mt	6,114	758
	2019年7月以降	\$/mt	6,000	164
	年度予想	\$/mt	6,029	312
為替	第1四半期決算	円/\$	109.9	0.8
	2019年7月以降	円/\$	108.0	3.5
	年度予想	円/\$	108.5	2.4

## 2020年3月期 第1四半期決算短信 補足資料

2019年8月6日

古河機械金属株式会社

## (売上高)

(単位:百万円 単位未満切捨て)

	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	対前年同期増減
機械事業	18,006	19,537	1,530
産業機械部門	3,333	4,778	1,444
ロックドリル部門	7,735	6,627	1,107
ユニック部門	6,937	8,131	1,194
素材事業	25,290	20,216	5,074
金属部門	22,041	17,019	5,021
電子部門	1,632	1,455	176
化成品部門	1,616	1,741	124
不動産事業	862	625	237
その他	209	190	19
【合計】	44,370	40,570	3,799

2020年3月期			
第2四半期累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
41,400	4,280	85,200	7,619
10,700	3,517	23,600	5,628
14,700	956	30,700	327
16,000	1,719	30,900	1,662
41,000	6,090	78,600	14,122
34,900	5,770	66,200	13,867
2,900	383	6,000	527
3,200	63	6,400	272
1,200	430	2,300	699
400	18	900	85
84,000	2,258	167,000	7,116

## (営業利益)

	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	対前年同期増減
機械事業	1,282	1,764	481
産業機械部門	29	469	439
ロックドリル部門	560	237	323
ユニック部門	692	1,057	365
素材事業	828	235	592
金属部門	555	50	504
電子部門	131	32	99
化成品部門	141	153	11
不動産事業	401	200	201
その他	26	25	1
(計)	2,486	2,175	311
調整額	20	19	0
【合計】	2,466	2,155	310

2020年3月期			
第2四半期累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
3,590	1,042	7,100	532
1,000	705	2,100	11
640	332	1,600	89
1,950	669	3,400	610
280	471	1,000	396
0	269	300	281
0	240	250	157
280	38	450	43
330	372	550	613
60	2	100	47
4,140	201	8,550	430
40	7	50	14
4,100	194	8,500	415

参考情報(以下の数値は参考値です)

## 1.産業機械部門受注残

産業機械については主に受注生産を行っており、当第1四半期会計期間末における受注残を示すと、次のとおりです。

	2019年3月期 第1四半期会計期間末	2020年3月期 第1四半期会計期間末	対前年同期増減
受注残	114億円	140億円	26億円

## 2.金属部門の金属価格変動影響による損益について

	2019年3月期 第1四半期累計期間	2020年3月期 第1四半期累計期間	対前年同期増減
営業利益	5.5億円	0.5億円	5.0億円
内価格影響分	5.0億円	0.4億円	5.5億円
銅	(4.5億円)	(0.1億円)	(4.6億円)
金	(0.5億円)	(0.1億円)	(0.7億円)